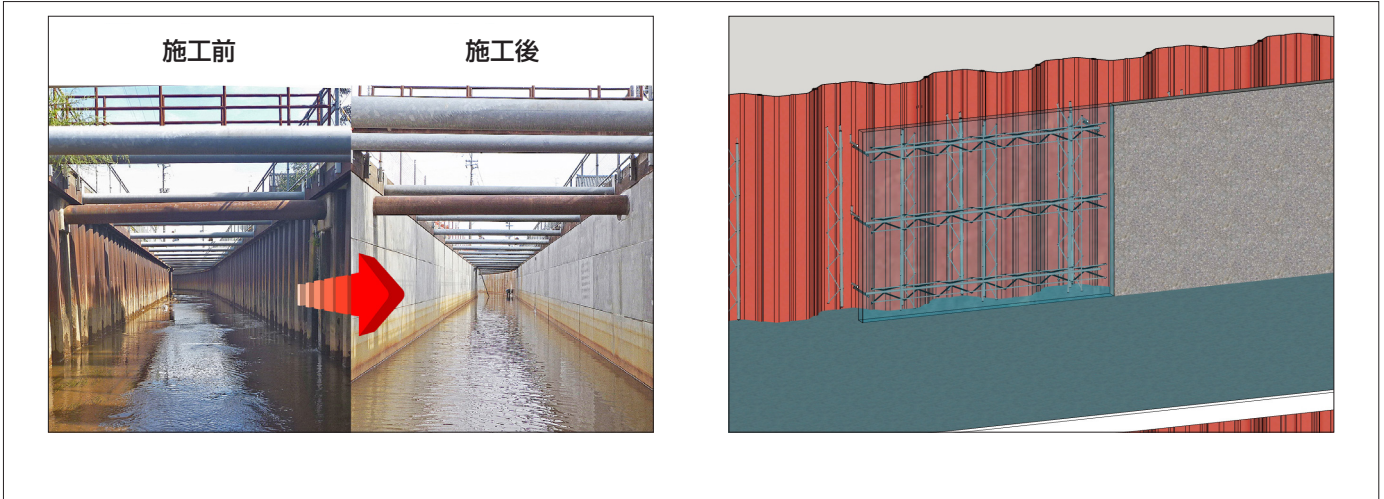


シートパイル・ガード工法

SPガード工法研究会（新潟）

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-10-10 共和コンクリート工業株式会社
TEL 03-6907-3724

【会員会社】 株式会社吉田建設 (TEL.0256-72-2391)、株式会社アドヴァンス (TEL.025-233-4132)、長栄工業株式会社 (TEL.0258-30-1511)、プラフォームサンプレス株式会社 (TEL.025-276-4750)、日本カイザー株式会社 (TEL.03-6435-1721)、共和コンクリート工業株式会社 (TEL.03-6907-3724)、新潟潜水興業株式会社 (TEL.025-273-4231)



概要

シートパイル・ガード工法（SPガード工法）は、劣化した鋼矢板水路において、鋼矢板の凹み側にトラス筋を溶接、全面にSP板（残存型枠）を設置、鋼矢板とSP板の空間をコンクリートで充填・一体化することで水路全体を鉄筋コンクリート構造として再構築し、補強を行う工法。

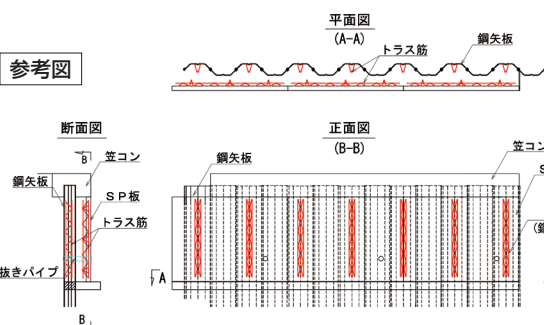
腐食等の劣化によって不足した鋼矢板の断面力を補うことができ、併せて腐食要因から保護することができるため、水路の長寿命化を図ることができる。このため、耐用年数を迎える水路の撤去・新設コストを削減することが可能となる。

本工法は、共和コンクリート工業株式会社・日本カイザー株式会社・株式会社吉田建設の3社で共同開発したもの。

「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」登録技術。

特長

1. トラス筋の働きにより鋼矢板、コンクリート、SP板が一体化する。
2. 腐食した鋼矢板はSP板・トラス鉄筋・充填コンクリートによって保護され、長寿命化される。
3. 農林水産省策定の「農業水利施設の機能保全の手引き」における健全度指標S-3（要補修）、S-2（要補強）に対応が可能。特に従来の表面被覆工法では難しかった、劣化の進んだS-2の補修工で優位性を発揮する。
4. 大型パネルのため、施工の省力化が図れる。
5. 水路高さに合わせた受注生産が可能である。

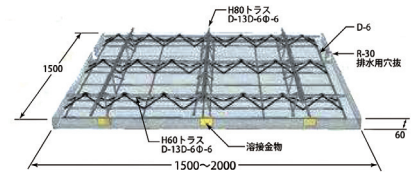


規格寸法

【基本寸法】
H1,500×W2,000×B60

【参考重量】
W=414kg/枚

※高さ方向の寸法は1,500mmを基本的に水路高さに合わせた制作ができる。



施工手順

●通常施工



●水中施工



●鋼矢板前面保護

